

地域 みんなで子どもを育てる

学校支援ボランティア活動 実践ハンドブック

(コーディネーター用・学校用)



鳥取県教育委員会

目次

はじめに	1
学校支援ボランティアとは	2
学校支援ボランティアの効果	3

ボランティア編

あなたにもできる! 学校支援ボランティア	4
活動を始めにあたって	5
活動の約束ごと	6
よりよい学校支援ボランティアのために	7
学校支援ボランティアの活動内容	8
学校支援ボランティアの活動例	9

学校編

学校支援ボランティアを導入しましょう	12
取組をスタートさせましょう	
学校の受入れ体制を整えましょう	14
ボランティアを迎え入れるにあたって	15

コーディネーター編

コーディネーターとは	16
一般的なコーディネートの流れ	17
ボランティアの探し方	18
コーディネーターの心得	19

様式編

ボランティア募集チラシ	20
ボランティア応募票	21
活動依頼書兼打合せ記録書	22
ボランティア活動記録用紙	23
コーディネーター活動記録簿	24
ボランティア活動実績簿	25

はじめに

未来を担う子どもたちは「地域の宝」です。しかし、少子化、核家族化や社会構造の変化などにより、子どもたちが学校や家族以外の大人と関わる機会や地域とのつながりが少なくなっています。

このため鳥取県では、学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てることを目的とした学校支援ボランティア事業を推進し、子どもたちの生きる力や豊かな心を育む取組を進めています。

しかし、学校支援ボランティア事業を円滑に進めるためには、子どもたちとボランティアの方を橋渡しする学校の先生やコーディネーターの方の力が不可欠です。そこで県では、ボランティア事業の導入をうまく進めることができるよう、このハンドブックを作成しました。

このハンドブックを参考にして活動していただくことにより、子どもたちや学校、ボランティアの方や地域がさらに元気になっていくことを期待しています。

学校支援ボランティアとは



学校支援ボランティアとは、学校の要望に応じて地域の方々がボランティアとなって学校を支援するしくみで、いわば、「地域につくられた学校の応援団」です。

例えば、生活や学習の支援、環境整備、登下校時の見守りなどを行います。

学校支援ボランティアを進めることによって、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりができます。また、地域の方々の知識や技術、経験を生かす場にもなったり、活動を通して人のつながりも生まれ、地域の教育力も向上します。

学校支援ボランティアは、できる人が、できるときに、できることを自らの意思で主体的に行うことが基本です。

学校支援ボランティアのしくみ

学校



どのような人材がどんなときに必要かを教職員で話し合い、支援を要請します。



地域コーディネーター

学校からの要請を受けて、学校支援ボランティアの中から内容にあった人を探して学校に派遣します。



地域住民



登録

学校支援ボランティア

学校環境整備、学習支援、読み聞かせ、登下校の安全パトロールなどの活動を行います。



学校支援ボランティアの効果



子どもたちにとっては

- ボランティアの多様な知識や経験により、多様な体験の場が増え、子どもたちの学習に対する興味や関心が高まります。
- 地域の大人たちとの交流により、コミュニケーション力や社会性が育ちます。
- 周りの人への感謝の気持ちや、地域への愛着が深まります。

学校・教員にとっては

- 家庭や地域との連携が一層深まり、開かれた学校づくりを進めることができます。
- 学校の環境整備が進んだり、校内、通学路の安全性が高まります。
- ボランティアが手伝えることにより、教員にしかできない子どもの指導等により多くの時間を充てられるようになります。

ボランティアにとっては

- 身につけている知識や経験を生かせ、地域に貢献しているという満足感が得られます。
- 一緒に活動することにより、仲間が増え、生きがいづくりにもつながります。
- 学校内はもとより、学校外でも子どもたちとあいさつをしたり言葉を交わすようになり、元気がもらえます。